



学校だより

目指す児童像

元気な子 (心と体すくすく)

進んで学ぶ子 (学びわくわく)

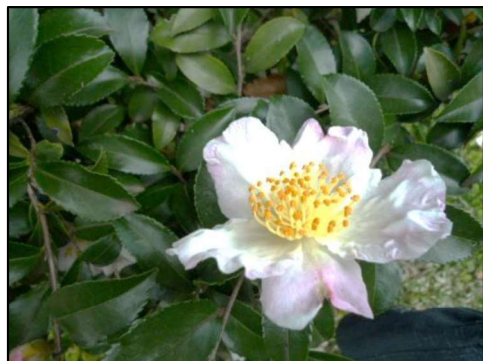
豊かにかかわる子 (人とにこにこ)

令和7年12月1日

第540号

児童数 588名

成長を実感



校長 岩澤 奈々子

校庭の木々が葉を落とし、秋の深まりを感じる今日この頃です。校務員さんが日々丁寧に掃除をしてくださる中を子供たちは元気よく駆け回っています。

朝運動で縄跳びを始めたこともあり、休み時間に縄跳びをする子供たちが多くなりました。二重跳びや交差跳び、あや跳びなど、ビュンビュンと音を立てて跳んでいる6年生をあこがれの目で見ている低学年の姿があります。すると6年生

が優しく跳び方のコツを教えてくださいています。なんとも微笑ましい秋のひと時です。

先日は、校内音楽会に大勢の保護者の方々、学校運営協議会の皆様や民生委員の皆様にお越しいただき、子供たちの頑張りと成長を見ていただくことができました。私たち職員も行事を通して子供たちを成長させるという思いで指導し、そして成長している子供たち間近で確認することができ、ことに喜びを感じています。残念ながら6年生はインフルエンザや風邪が流行ってしまったため予定を変更して実施することになりましたが、立派な姿をこの後披露してくれることと期待しています。

音楽会を通して学年職員が感じた子供たちのがんばりや成果をお伝えします。

きずな 音楽会に向けて、学期の練習を毎日頑張りました。厳しい練習の中で心が挫けそうになったこともありましたが、日々努力を重ね本番では自信を持って合奏・歌唱を行うことができました。

1年生 初めての音楽会でしたが立派な態度で臨むことができました。明るく楽しい曲想に合わせて歌った「誰だってお誕生日」も、弾むようなリズムで合奏した「さんぽ」も本番が一番いい響きでした。

2年生 練習を重ねるごとに声や音が揃っていくのを感じました。地声ではなく高く美しい声で歌えるようになったこと、指揮を見ながら演奏できるようになったことなど、中学年に向けてステップアップしています。

3年生 練習を重ねるごとにどんどん上達していく様子が見られました。難しい二部合唱でしたがソプラノとアルトのハーモニーが見事でした。今後も大いに期待しています。

4年生 合唱「ぼくの太陽」は優しく歌い上げる曲で元気いっぱいな4年生が歌うには難しいかなと感じていました。しかし、合奏も含めて聴いてくれる人に「良い音を届けよう！」と練習を重ねることで、自信を持って本番を迎え、大成功を収めることができました。

5年生 歌い始めのブレスから終盤のロングトーンまで約100名が息を合わせた合唱と、アップテンポで軽快に、時に力強く音を響かせた合奏。高学年として箔がついた圧巻の演奏は、5年生の成長の証です。

※6年生については、次号でお知らせします。

2学期もこの12月を残すだけとなりました。保護者、地域の皆様のご協力に感謝いたします。学期の締めくくりをしっかりと行い、次への飛躍に繋がられるよう今後も教育活動の充実に努めてまいります。